



日本物理学会のこの1年 (2007年10月～2008年9月)

2007年度は、女性研究者支援モデル育成事業、女子中高生理系進路選択支援事業、出産・育児による研究中断者のための学術振興会特別研究員制度などの事業が推進され、その成果を見守りつつ、足りないものは何かについて議論した1年であった。

日本物理学会男女共同参画推進委員会では、委員個人がそれぞれの所属機関において、上記の事業に関わった。また12名の委員(男女同数)と、20名のネットコメンテータ(男性12名、女性8名)が主題別に7つのサブグループ(SG)に分かれて、「動き始めた政府の女性研究者育成および支援策を生そう！」を課題に、以下の活動を展開した。

SG構成: [1]高校生への情報発信, [2]広報, [3]年会シンポジウム企画, [4]学協会連絡会運営委員会対応, [5]学協会連絡会シンポジウム, [6]海外との協力, [7] アンケート等統計調査

1. 年次大会における日本数学会との意見交換会: (2008年3月24日, 近畿大学)

年会シンポジウム担当SG: 米永一郎. 日本数学会と日本物理学会が年次大会を共同開催したので、その機会に互いの男女共同参画推進委員会関係者が集まり、意見交換を行った。数学会から9名、物理学会から10名の出席があった。両学会ともに女性が非常に少ないという共通点があり、今後も機会を見つけて情報交換することとなった。

2. 女子中高生理系進路選択支援事業: 高校生への情報発信SG

「平成19年度女子高校生のためのジュニア科学塾2008 in 関西」(2007年3月15-16日, 大阪大学・JICA大阪国際センター). 文科省・学協会連絡会・SCOMS主催. 参加高校生83名, 付添い教員・保護者14名. 実験・実習「宇宙線を捕まえろ!」: 谷田聖, 「弾む! 浮く! 気まぐれ金属たち」: 松岡由貴(奈良女子大), 松岡哲平(阪大理), ポスターセッション「物理を学ぶと、どんな進路があるの?」: 片岡佐知子(奈良女子大). リレースピーチ「人生万事塞翁が馬」: 田島. 撮影記録担当: 常見俊直(京大理), 胡子昇一郎(京大理), 林勇治(京大理), 中西怜央奈(京大理). 実験実習の翌日には高校生によるサイエンスカフェ形式での発表会を行った。

「平成20年度女子中高生夏の学校～科学・技術者のたまごたちへ～」(2008年8月14-16日, 国立女性教育会館). 文科省・学協会連絡会・国立女性教育会館等主催. 実験「光とレーザーを操ろう!」: 有光直子, 松尾由賀利, 中島美帆, 笹尾真美子, 井戸堯子(学習院大). ポスターセッション「物理を学ぶとどんな進路があるの?」「超伝導とは」: 鳥養映子, 前田京剛, 田中のぞみ(東北大工), 井上恵美子(学習院大). 協力: 高木英典(理研).

信州夏の学校「私もサイエンティスト」(信州大学, 2008年7月～8月)担当: 中島美帆.

4. 日本物理学会誌において「男女共同参画推進委員会だより」を連載: 広報担当SG: 森初果, 中嶋美帆. 女子高校生夏の学校・関西科学塾の紹介(第4回), 女性研究者支援モデル育成事業の取り組み紹介(第5回)など, 担当委員が会誌記事を執筆し, 物理学会会員の啓発に努めた.

5. 学協会連絡会の活動への参加: アンケート調査まとめについての協力(提言委員会委員: 田島, 著作権等知的財産管理委員: 鳥養). 第6回シンポジウム(京都大学)に7名参加, ポスター発表: 松尾由賀利.

6. 国際協力の推進: (1)女子中高生夏の学校と韓国物理学会主催 Girls Summer Schoolとの合同イベントとして, 韓国女子高校生と日本の女子中高生の交流(テレビ会議)を実施. (2) IUPAP “Women in Physics” WG 主催の国際会議(Oct.8-10, 2008 in Seoul)出席のための準備: 田島が日本チーム18名のリーダー. 日本物理学会からは3つのポスター発表と1つの口頭発表を行う予定でそれぞれ Proceedings を提出.

7. 委員会ホームページの充実: 広報SG: 担当 中島美帆

委員会の議事録や物理学会誌掲載記事の紹介など, 委員会活動を随時追加掲載し, HPを一層充実させた.

8. 内閣府チャレンジ・キャンペーンへの協力: 広報SG: 担当 森初果

内閣府チャレンジ・キャンペーン・サイトに共催団体紹介・メッセージを掲載し, 女子高校生や女子学生へ向けて, 物理学分野の紹介を行うとともに, 応援メッセージを送った.

(文責田島)

